令和8年度予算案
記者発表

令和8年2月2日



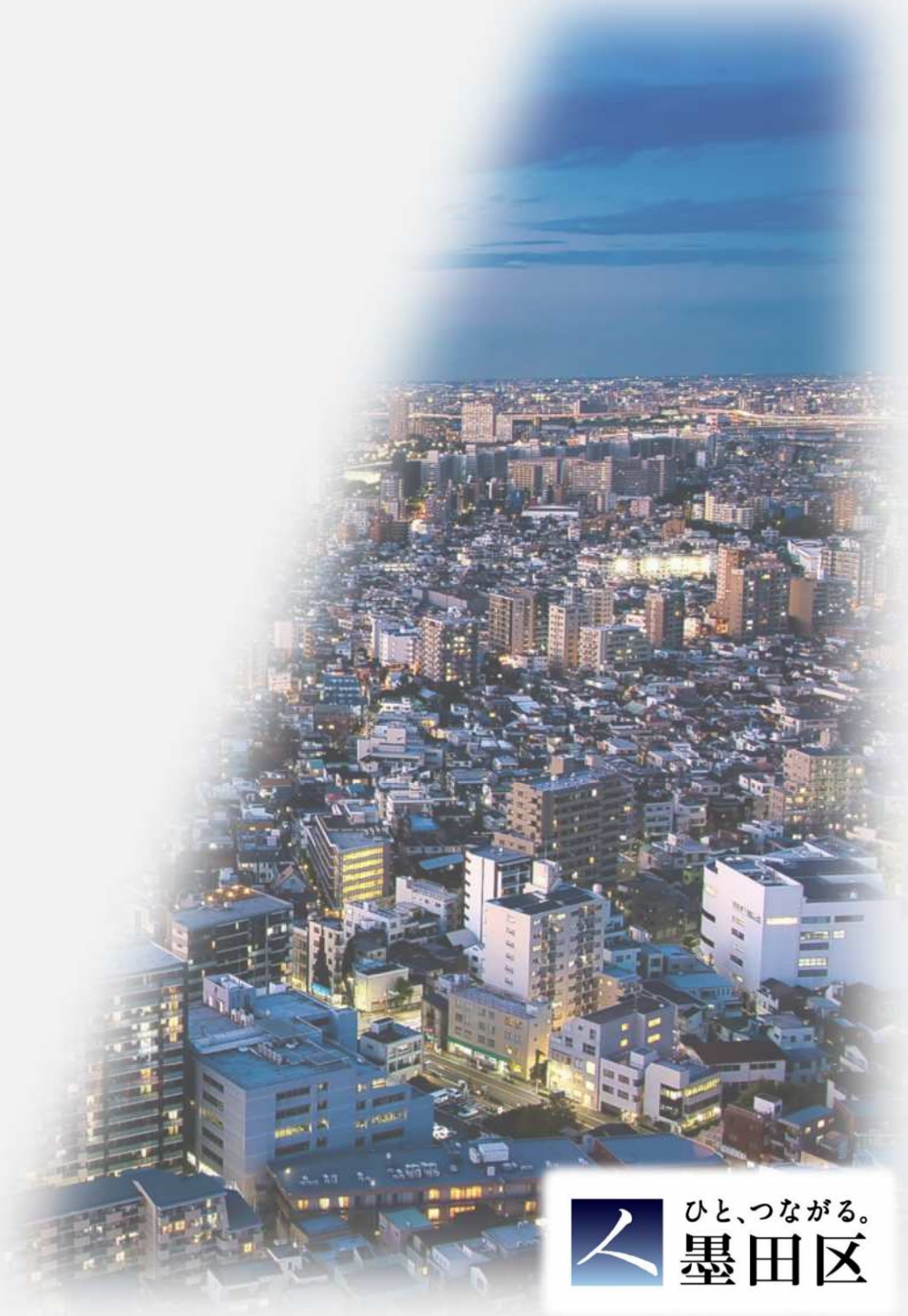
ひと、つながる。
墨田区

目次

1.全体の考え方

2.予算規模

3.主要な事業



ひと、つながる。
墨田区

令和8年度 予算案

人がつながり
夢をカタチに

～すみだの新時代を切り拓く予算～



ひと、つながる。
墨田区

墨田区　予算案

平成28年度（2016年）
すみだ北斎美術館 開館

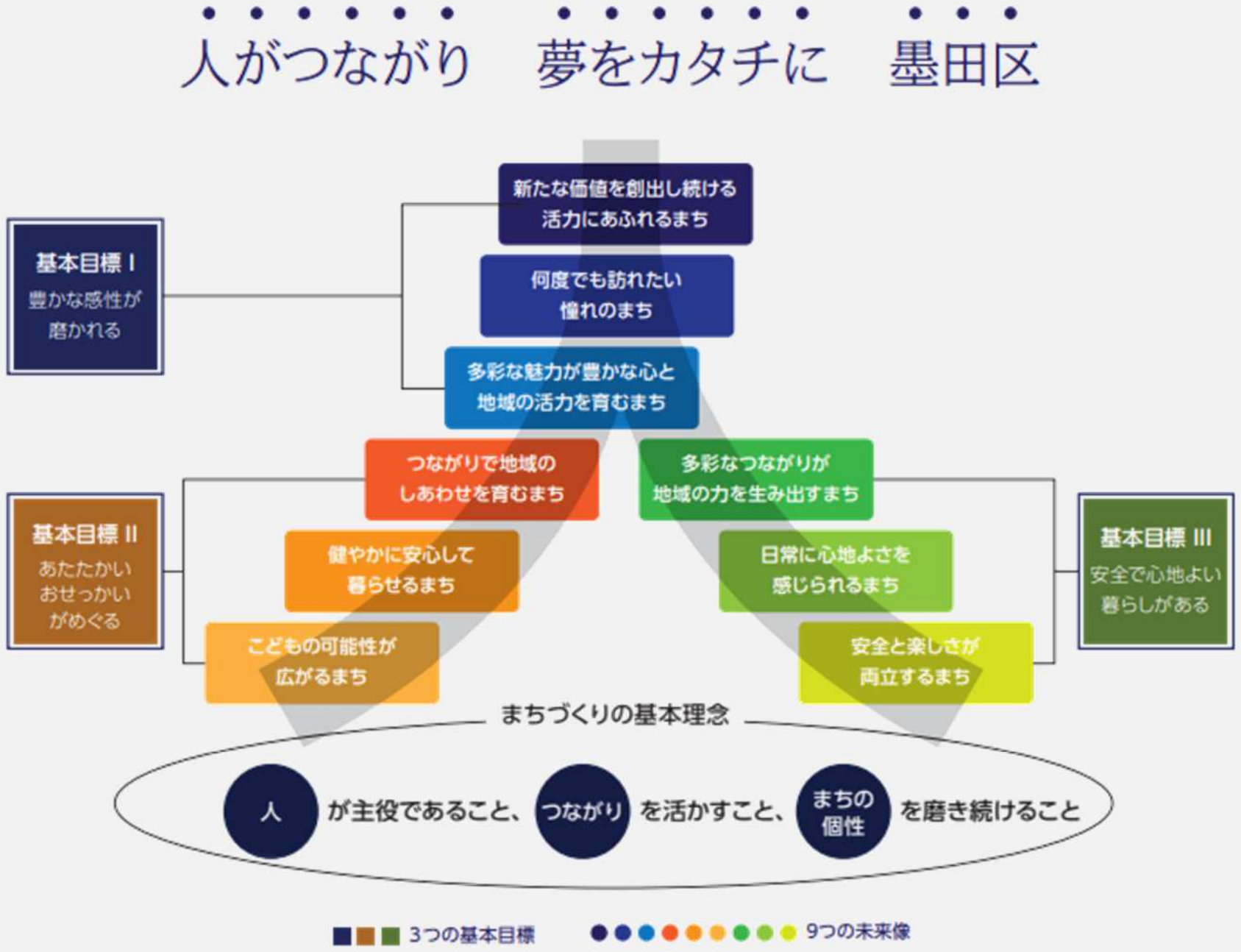
平成24年度（2012年）
東京スカイツリー® 開業

令和5年度（2023年）
SIC（SUMIDA INNOVATION CORE）開設

令和6年度（2024年）
すみだ保健子育て総合センター開館

令和7年度（2025年）
墨田区基本構想策定

基本構想イメージ


人がつながり　夢をカタチに　墨田区
基本目標 I
豊かな感性が磨かれる
新たな価値を創出し続ける活力にあふれるまち
何度でも訪れたい憧れのまち
多彩な魅力が豊かな心と地域の活力を育むまち
基本目標 II
あたたかいおせっかいがめぐる
つながりで地域のしあわせを育むまち
健やかに安心して暮らせるまち
こどもの可能性が広がるまち
多彩なつながりが地域の力を生み出すまち
日常に心地よさを感じられるまち
安全と楽しさが両立するまち
基本目標 III
安全で心地よい暮らしがある
まちづくりの基本理念
人 が主役であること、つながり を活かすこと、まちの個性 を磨き続けること
3つの基本目標
9つの未来像

令和8年度 重点課題

1 「これまで」と「これから」をつなぐ、人が主役のまちづくり

- すみだならではの魅力の創出
- 区民の安心に寄り添うまちづくり
- 「こどもまんなか すみだ」の推進

令和8年度 重点課題

2 暮らし続けたい・働き続けたい・訪れたいまちの実現

- 子どもの声を大切にして、
  みんなの笑顔があふれるまちを！

3 社会の変化に柔軟に対応していくための行政サービスの改革

- 区民が主役の窓口を実現！

すみだで生きる一人ひとりが
それぞれに夢や希望を持って
未来へと進む

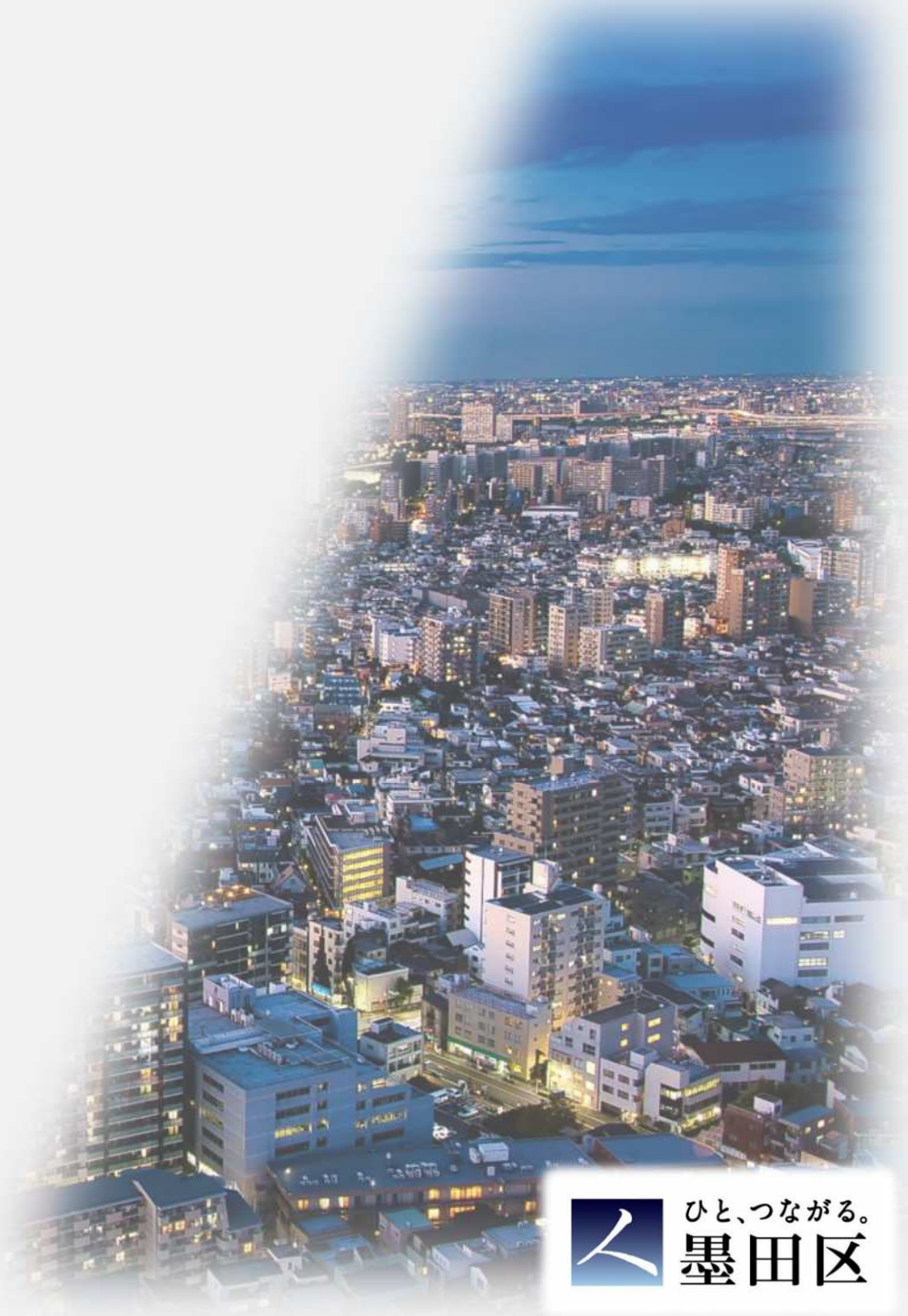
挑戦する人をみんなで支え、
応援していく

目次

1.全体の考え方

2.予算規模

3.主要な事業



ひと、つながる。
墨田区

令和8年度 予算規模と推移

一般会計予算額

1,559億2,600万円

前年度＋129億700万円（9.0％UP）

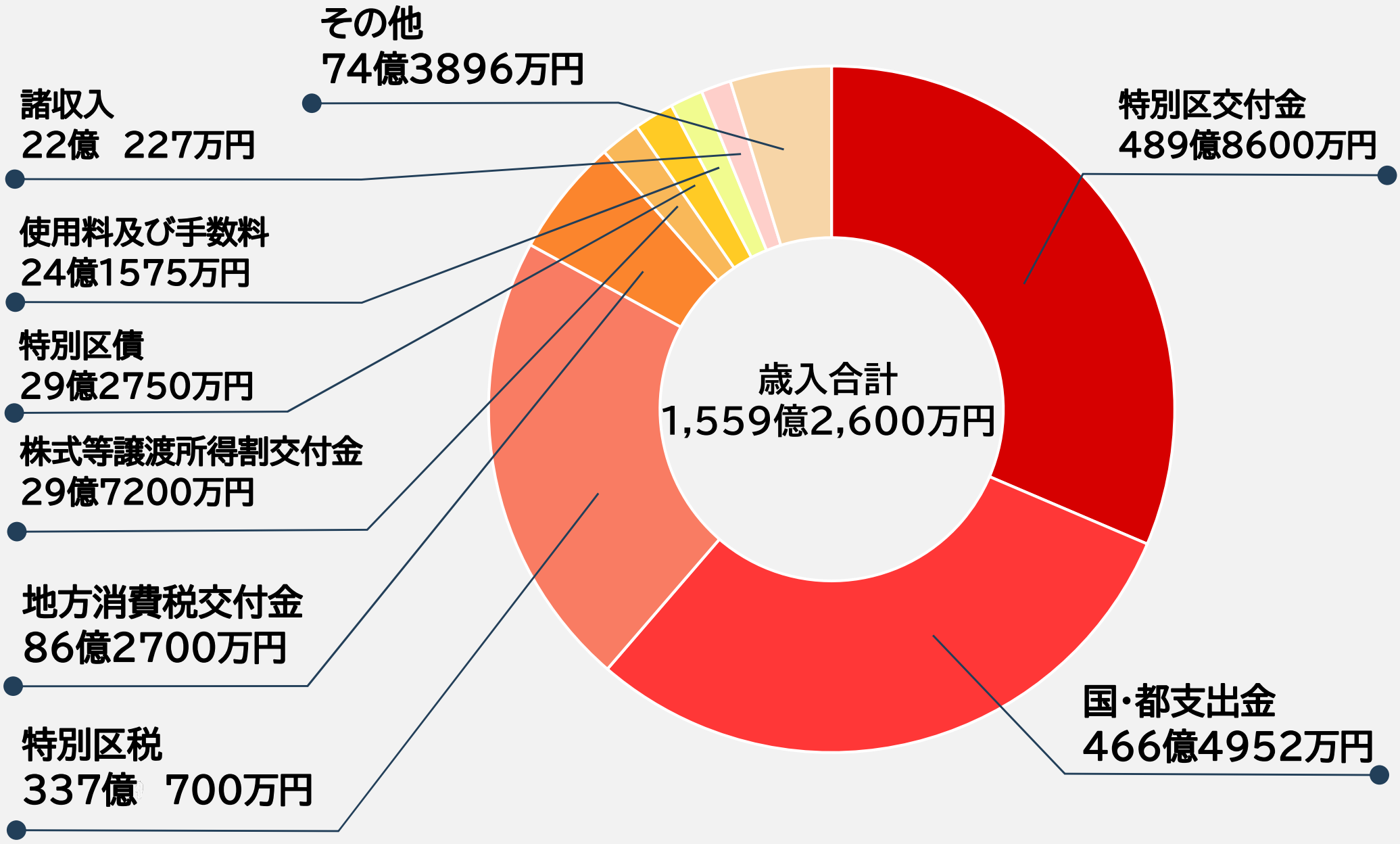
予算総額

2,148億7,500万円

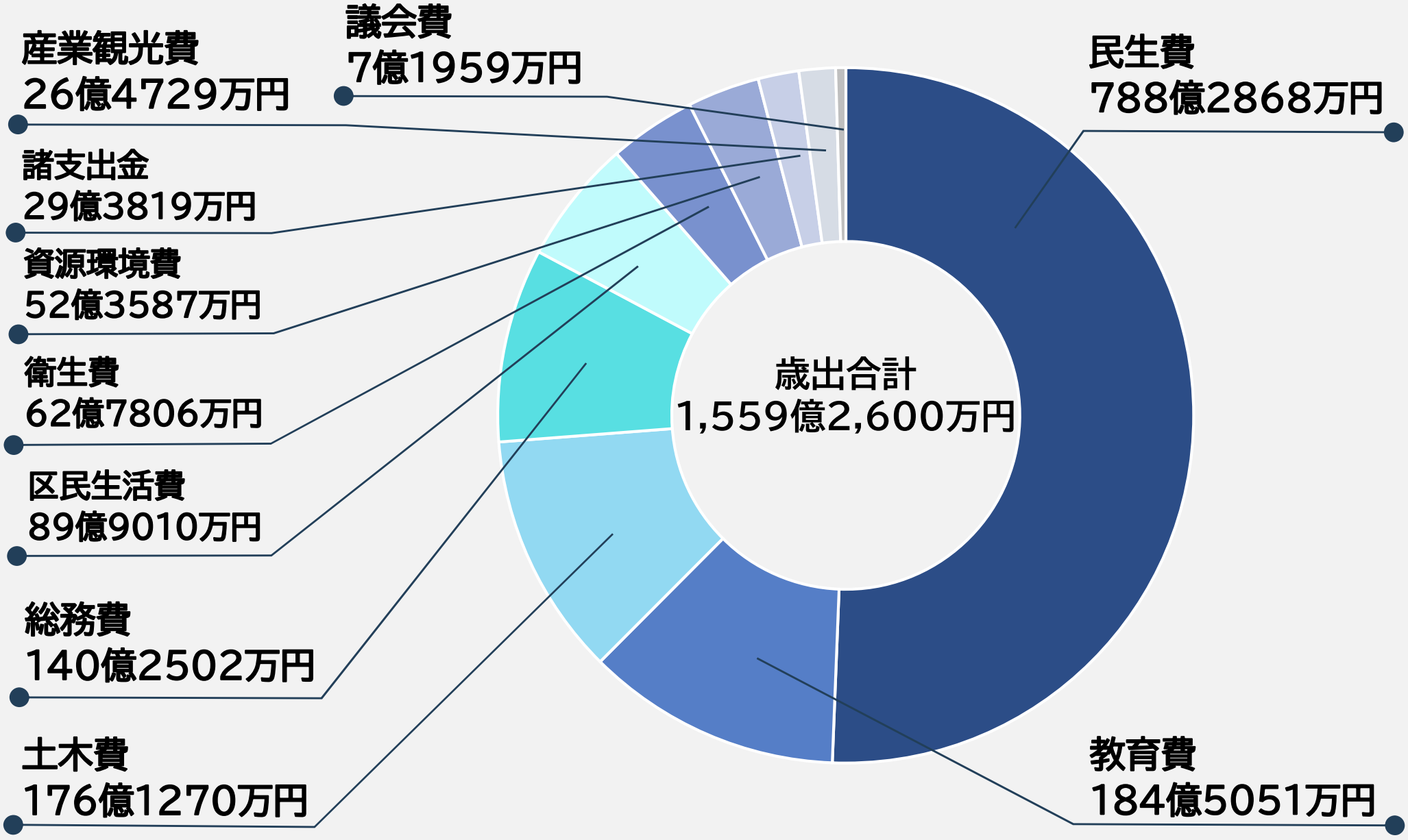
前年度＋139億5,000万円（6.9％UP）



令和8年度 歳入予算


その他
74億3896万円
諸収入
22億　227万円
使用料及び手数料
24億1575万円
特別区債
29億2750万円
株式等譲渡所得割交付金
29億7200万円
地方消費税交付金
86億2700万円
特別区税
337億　700万円
特別区交付金
489億8600万円
歳入合計
1,559億2,600万円
国・都支出金
466億4952万円

令和8年度 歳出予算


議会費
7億1959万円
産業観光費
26億4729万円
諸支出金
29億3819万円
資源環境費
52億3587万円
衛生費
62億7806万円
区民生活費
89億9010万円
総務費
140億2502万円
土木費
176億1270万円
民生費
788億2868万円
歳出合計
1,559億2,600万円
教育費
184億5051万円

目次

1.全体の考え方

2.予算規模

3.主要な事業



ひと、つながる。
墨田区

※事業の予算については、端数処理により数値の合計、
また、予算概要の記載のある予算額と数値が合わない場合があります。

すみだならではの魅力の創出



1

ALLすみだで創る、私たちの芸術祭

23区初の総合的芸術祭「すみだ五彩の芸術祭」開催

予算額 拡充

4億2,516 万円

問合せ
地域力支援部副参事
（総合的芸術祭・すみゆめ担当）
高橋 淳一　内線5470

目的



地域への関心や人と人とのつながりが薄れつつある中、地域住民が主役となり、住民・来訪者・アーティスト・地域団体が関わり合いながら、墨田の文化や魅力を再発見・共有する機会を創出し、「すみだ」への誇りと愛着を育む。芸術祭を通じて地域のつながりを強化し、地域力の向上を目指す。

名称：「すみだ五彩の芸術祭」について

単色である「墨」が、濃淡や筆致で無限の色彩「五彩」を生むように、すみだの多彩な魅力と可能性を表現するという意味が込められています。

コンセプト：「発気揚々」について



相撲の「はっきよい」というかけ声の元にもなったというこの前向きなエネルギーを表す言葉を胸に秘め、芸術を通じて人と人がつながり、すみだがかけがえのない場所になる―そんな芸術祭を目指します。

ロゴマーク：時代を超えて羽ばたく都鳥

平安時代に詠まれた『都鳥』が、今もすみだの空を舞うように。時代を超えて人と文化、想いをつなぐ象徴として、すみだ五彩の芸術祭のロゴは生まれました。過去を受け継ぎ、未来へ羽ばたく希望を込めています。

すみだ五彩の芸術祭
SUMIDA ART FESTIVAL

芸術祭概要　【4億2,516万円】 拡充

- 会期：令和8年9月4日～12月20日（108日間）
- 主催：すみだ五彩の芸術祭実行委員会、墨田区
- 内容：展示、音楽、演劇、パフォーマンス等の多彩なプログラムを展開
- 会場：千葉大学墨田サテライトキャンパス、すみだトリフォニーホール、すみだ生涯学習センター、すみだパークシアター倉、ささやギャラリー　など区内各所

すみだの歴史や日常に根差した企画を展開

1　写真展示企画：すみだのひとびと

墨田区に暮らす人々の自然な姿を捉えた写真展示。撮影地域の集会所や町会会館で展示を行い、撮影時エピソードや文書もあわせて紹介することで、地域の多様な個性と魅力を発信。
（アーティスト：蔵真墨）



2　本所七不思議をテーマにした「パラレルワールド」

本所地域に伝わる「七不思議」を題材とした現代版アートプロジェクト。スマートフォンの音声ガイドを通じてまちを歩く周遊型企画として、フィクションと現実が交差する新たなまち歩き体験を展開。
（アーティスト：岡田裕子）

3　古くからの美しき佇まいへ、今日の感性と

墨田区内の歴史的建造物において、掛け軸や置物、屏風などの古美術とアーティストの独自視点による作品を展示。墨田の歴史的建造物の魅力を顕在化し、現代の生活感性との接続を試みる。（アーティスト：山口藍 他）



4　向島や鐘ヶ淵辺りを巡るツアー形式の演劇作品

向島地域等を舞台に、土地の記憶や音をテーマとしたツアー形式の演劇作品。鑑賞者がスマートフォンを頼りにまちを歩きながら物語に没入する体験型演劇として構想し、地域の風景や音を新たな視点で体感する機会を創出。（アーティスト：謎音研究所）

5　すみだのものがたりから構想する新作ダンス公演

隅田川を題材に、交流やリサーチを通じて創作する新作ダンス作品。区内の特色ある場所を舞台に公演を展開し、「演劇のまち・すみだ」の文化的蓄積を活かす。
（アーティスト：山崎広太 他）



6　扉座「歓喜の歌」すみだバージョン

墨田区を舞台とした「歓喜の歌」の上演企画。区民オーディションによる出演やキラキラ橘商店街との連携を通じて、地域の人々が主体的に関わる舞台作品を目指す。
（アーティスト：劇団「扉座」）



7　ソーシャルワーク・アートアクション

地域福祉と文化芸術を結びつけ、アーティストとソーシャルワーカー、多様な参加者が協働する連続プロジェクト群。まち歩きや地域観察、ワークショップ等を通じて「誰もが文化的に暮らせる地域」を問い直し、地域の再発見と価値観の解きほぐしを促す。作品展示や記録の蓄積も含め、地域共生社会の新たな可能性を探る取組。
（アーティスト：川田知志 他）

8　解放されたプロメテウス（AR作品）＋小泉明郎展

若いベトナム人労働者の「悪夢」のモノローグを核にしたAR体験型作品。ARグラスを通じて他者の内面を追体験し、共生の鍵となる「異質な他者への想像力」を促す。週末はAR作品、平日は立体作品展示も組み合わせ、継続的に鑑賞できる構成とする。
（アーティスト：小泉明郎）

9　色を纏う、共に縫う

若い薄い生地を多層に縫い合わせる表現を軸にしたインスタレーション展示企画。既存作品の展示に加え、墨田の人々と「共に縫う」参加型プロジェクトを実施し、成果物を作品として展示する。繊維産業など地域資源とも接続し、“縫う”行為を通じて過去の記憶をポジティブに解放し、共に創る時間を共有する場をつくる。
（アーティスト：Tomo Koizumi 小泉 智貴）

※ 企画タイトルや内容など仮のものであり、今後変更となる可能性があります。

2

すみだの資源を公民学で紡ぐ

SDGs未来都市すみだの大学のあるまちづくり

予算額 新規 拡充

8,215万円

問合せ
企画経営室副参事
飯田　晃英　内線3720

1 目的

区内大学や協定締結事業者、SDGs宣言事業者等と連携し、地域課題の解決やSDGsの推進を図ると共に、教育環境の向上や産業振興等につなげる。

2 主な事業内容

(1) 大学との連携事業

【千葉大学】
- 笑かつカフェを通じた健康プログラム 拡充
- すみだ五彩の芸術祭連携パッケージ 新規
- モデルショップ（工房）ものづくり体験 新規
- 区民の行動変容を促すデザイン連携
- デザインスクール（中高生向け・社会人向け）

【iU】
- eスポーツを活用した新たな賑わい創出 新規
- ものづくりフェアにおける連携

【レイクランド大学】
- 小さな無料図書館「リトル・フリー・ライブラリー」 新規
- 区内社会人向けイングリッシュスクール 新規

【千葉工業大学】
- すみだ五彩の芸術祭連携「隕石アート展」の開催 新規
- 子ども向け宇宙ワークショップ 新規

【UDCすみだとの連携】
- グリーンスローモビリティの実装に向けた連携 新規
- 地域と大学でつくる「すみだファームプロジェクト」 新規

01 大学の“知”で健康課題を解決！

笑かつ！Cafe
CHIBA UNIV. SUMIDA CAMPUS



落語で笑って、
シナプソロジーで動いて、
多世代交流できる通いの場

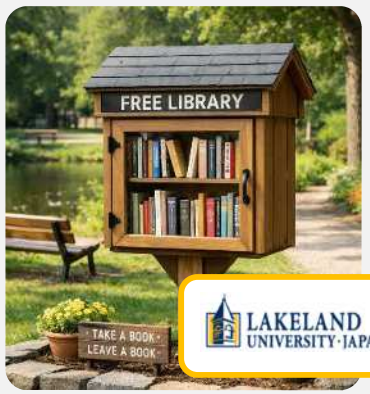
さらに！

【高齢者】
- 介護予防事業評価研究
- フラッとあつまレ14サロン

【子ども・子育て】
- 子どもの生活と健康調査研究
- 健康関連メーカーと連携した出前講座

02 新たな地域の魅力を発掘し、発信する

リトル・フリー・ライブラリー





eスポーツによる賑わい創出

3 北斎が描いた江戸、令和のすみだで想いを馳せる
江戸文化発信区内回遊促進事業

予算額 新規
774 万円

問合せ
(1)(2)観光課長
大西　俊明　　内線5481
(美)文化芸術振興課長
藤原　聖一郎　内線5451

1 目的

すみだに根付く江戸文化の発信を通じて、江戸東京博物館リニューアルオープンで盛り上がる両国から、区内全地域へとさらなる観光回遊の促進を図る。

2 主な事業内容

(1)『地球の歩き方』連動区内回遊促進 【640万円】新規

令和8年に発行予定の『地球の歩き方　墨田区』への出稿や、発行に合わせたイベントを実施し、観光誘客と区内回遊の促進を図る。【開催時期】令和8年夏(予定)

(2)両国発!!産業観光プロモーション　【134万円】新規

都営両国駅至近の国際ファッションセンター1階展示スペースを新たに活用し、江戸文化、観光、産業等のプロモーションを行う。【時期】年間を通じ、適宜展示替え予定

【すみだ北斎美術館 重点企画】
特別展
すみだの逸品御開帳「隅田川両岸景色図巻と館蔵優品」(仮)

すみだ北斎美術館では開館10周年を記念し、厳選した館蔵名品と、この10年間で新たにコレクションに加わった新規収蔵品を紹介し、すみだゆかりの絵師・葛飾北斎の画業とその魅力を紹介する。

また、この特別展は「すみだ五彩の芸術祭共催企画」として実施する。

3 事業イメージ・その他



4

すみだの「これまで」と「これから」をつなぎ
誰もが夢や希望を持って進んでいける未来へ

区制施行80周年記念式典

予算額 新規
1,959万円
（1）政策担当　1,509万円
（2）広報広聴担当　450万円

問合せ
政策担当課長
楠　幸輔　内線3721
広報広聴担当課長
菜原　航　内線3611

1 目的

2027年3月15日に区制施行80周年を迎えるにあたり、本区の80年の歴史を尊び、先人への感謝と未来への思いを馳せ、区政の更なる発展を目指す。

2 主な事業内容

（1）区制施行80周年記念式典【1,509万円】 新規

区制施行80周年を記念した式典を開催する。
また、新たに策定した基本構想及び基本計画を通して、2035年のすみだの未来を共に考える機会とする。

日時：2027年3月13日（土曜日）予定

（2）区制施行80周年記念映像の制作【450万円】 新規

区のシティプロモーションのテーマ「人と人とのつながり」に沿った記念映像を制作する。
本映像は式典以降、様々な形で活用し、視聴いただくことで区民の地域への愛着と誇り（シビックプライド）を醸成するとともに、区外からの憧れと共感を呼び起こしていく。

参考1）墨田区基本構想
2035年に墨田区がありたい姿を描き、まちづくりの方向性を示すもので、最も大切にしていくビジョン。
このビジョンを区民や団体、事業者など、墨田区に関わるすべての人々と共有し、描くまちの姿をともにつくりあげていく。

参考2）過去資料：区制施行70周年記念映像
本区の人情味の温かさと人と人とのつながりの強さを共有できる映像として制作している。



3 事業イメージ・その他



注意：記載内容は、2026年2月2日（月）現在の予定です。予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

5　桜が紡ぐすみだの未来

新・すみだ遺産　墨堤の桜

予算額　新規　拡充

1,413 万円

問合せ
都市整備課長
田村 知洋　内線3911
公園課長
小林 将之　内線5061

1 目的

区指定の名勝である“墨堤の桜”は、江戸時代から花見の名所として人々に愛され、その象徴的な風景はすみだの歴史・文化として継承されてきた。

現在の桜は、樹齢が約65年に達し、老齢化や病虫害の被害が課題となっている。

区は、墨堤の桜の「再生・継承」と、同時期に実施する隅田公園の再整備を一体的に進めることで、訪れる人にとって魅力的で、そこに住む人にとって誇りとなる「すみだの未来」を紡いでいく。

2 主な事業内容

(1)再生計画策定支援業務委託等【673万円】 新規

地域住民やボランティア団体、学識経験者等と協働し、桜の健全度や生育環境を踏まえて、墨堤の桜に最適な再生手法の検討に着手する。

(2)現況測量業務委託【460万円】 新規

再生手法の検討に必要な現況測量を実施する。

(3)保全調査業務委託【280万円】 拡充

従前から実施している保全業務を拡充するとともに、再生計画の策定に必要な各種調査を実施する。

3 案内図・その他





修善記・玉堂画「隅田川花景一望全図」より
弘化3(1846)年（すみだ郷土文化資料館所蔵）



震災復興公園当時(開園時)の桜並木
昭和6(1931)年（すみだ郷土文化資料館所蔵）





現在の墨堤の桜

区民の安心に寄り添うまちづくり



6 地域の暮らしを大切に ルールとマナーを守る

規制強化に伴う新たな民泊対策

予算額 新規 継続

2,959万円

問合せ
生活衛生課長事務取扱
保健衛生部次長
須藤 浩司
電話 03-5608-6939

1 目的

令和8年4月の条例施行による民泊等に対する規制強化に併せて、違法民泊等に対する監視指導体制を強化する。
また、民泊規制に関する周知や相談受付体制を整備し、生活環境の悪化を防ぎ、区民の安全安心につなげる。

2 主な事業内容

⑴ 監視指導体制の強化【2,896万円】 新規 継続

民泊等への定期的な巡回、監視指導等を強化するとともに、関係事務の一部業務委託を行う。また、法令等違反事業者に対する処分基準を定め、厳格に運用していく。
旅館住宅宿泊施設調査員による監視指導も継続する。

⑵ 墨田区版ルールブックの作成【64万円】 新規

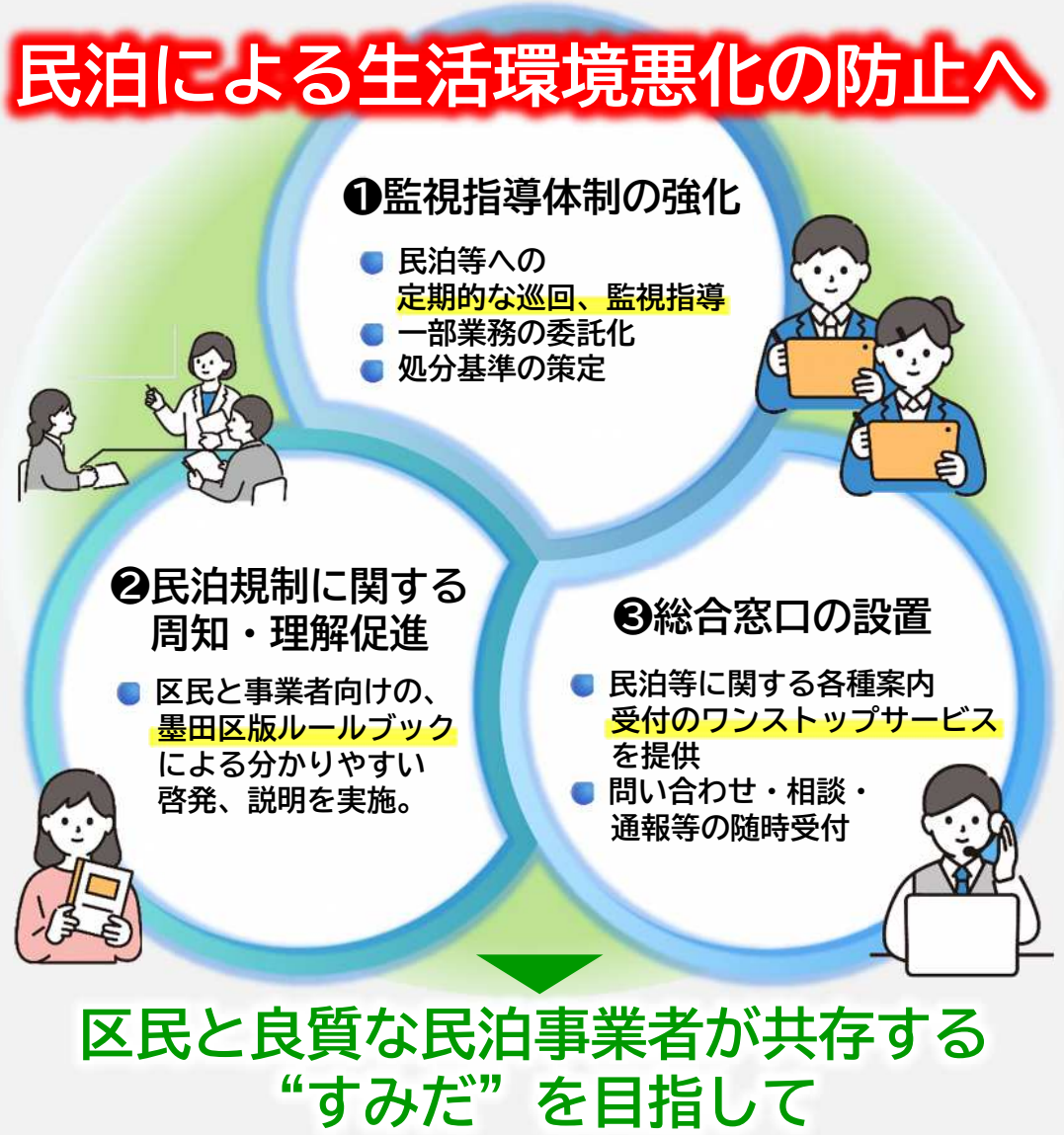
区民・事業者向けに、民泊等に関する規制や、生活環境悪化防止に向けた取組について、分かりやすく解説するルールブックを作成、配布する。

さらに、(仮称)すみだ民泊総合窓口も開設

民泊等に関する区民・事業者からの各種問い合わせ、相談、通報等を随時受け付ける総合窓口を開設する。

●開 庁 時 間 :専用ダイヤル、窓口、専用通報フォーム
●開庁時間外:専用通報フォーム

3 事業イメージ



7

自分らしく、輝く毎日を。

高齢者の生きがいある暮らしをサポート！

予算額 新規 拡充

8,390万円

問合せ
高齢者福祉課長
大八木　努　内線3410

1 目的

高齢者を取り巻く様々な課題に対応するため、高齢者が自分らしく生きがいをもって生活することができる施策を展開し、「暮らし続けたいまち」を実現する。

2 主な事業内容

（1）東京都シルバーパス購入費用助成事業 【7,110万円】 新規

高齢者の外出機会を増やし、孤立防止やフレイル予防、健康寿命の延伸を目的に、都営の公共交通機関や対象民営バスを1年間制限なく利用できる「都シルバーパス」を12,000円で購入した対象要件を満たす方に対して、購入費の一部を補助することで、利用者は実質1,000円で購入可能となる。

（2）高齢者見守りICT機器導入費用助成事業 【90万円】 新規

家族と離れていても高齢者が安心して自宅で生活ができることを目的に、ICT（情報通信技術）を活用した高齢者の見守りを支援する機器の導入費用の一部を補助する。

（3）高齢者補聴器購入費助成事業 【1,191万円】 拡充

従来の助成上限額を引き上げることで、対象者の経済的な負担を軽減するとともに、QOLの向上、もって社会参加の促進につなげる。

3年連続で事業拡充！

3 事業イメージ・その他

実質1,000円で購入可能！

① 新 東京都シルバーパス購入費用助成事業



外出で元気！
シルバーパスで
広がる行動範囲

② 新 高齢者見守りICT機器導入費用助成事業

離れていてもつながる安心！
ICTで高齢のご家族を
見守ります
夏場の熱中症リスク低減にも



③ 拡充 高齢者補聴器購入費助成事業額

	R7	R8
住民税非課税者	35,000円	72,450円
住民税課税者	20,000円	40,000円

助成額大幅UP

8 ～脱炭素社会の実現を目指して～

ゼロカーボンシティの推進

予算額 新規 拡充

4,700 万円

問合せ
公共施設マネジメント推進課長
佐藤　麻依子　内線5071
環境保全課長
村田　大輔　内線5461

1 目的

「すみだゼロカーボンシティ2050宣言」達成に向け、公共施設に順次、再生可能エネルギー由来電力を導入し、2030年度までに照明を100%LED化することで、区の事務事業から排出される温室効果ガスを削減する。

2 主な事業内容

(1)公共施設への再生可能エネルギー由来電力の導入　【0円】 新規

公共施設へ再生可能エネルギー由来電力を導入する。

▸対象施設：令和8年度は区役所本庁舎、資源環境部所管8施設

▸温室効果ガス削減見込：約2,000t-CO2

電気料金約2,000万円削減見込み

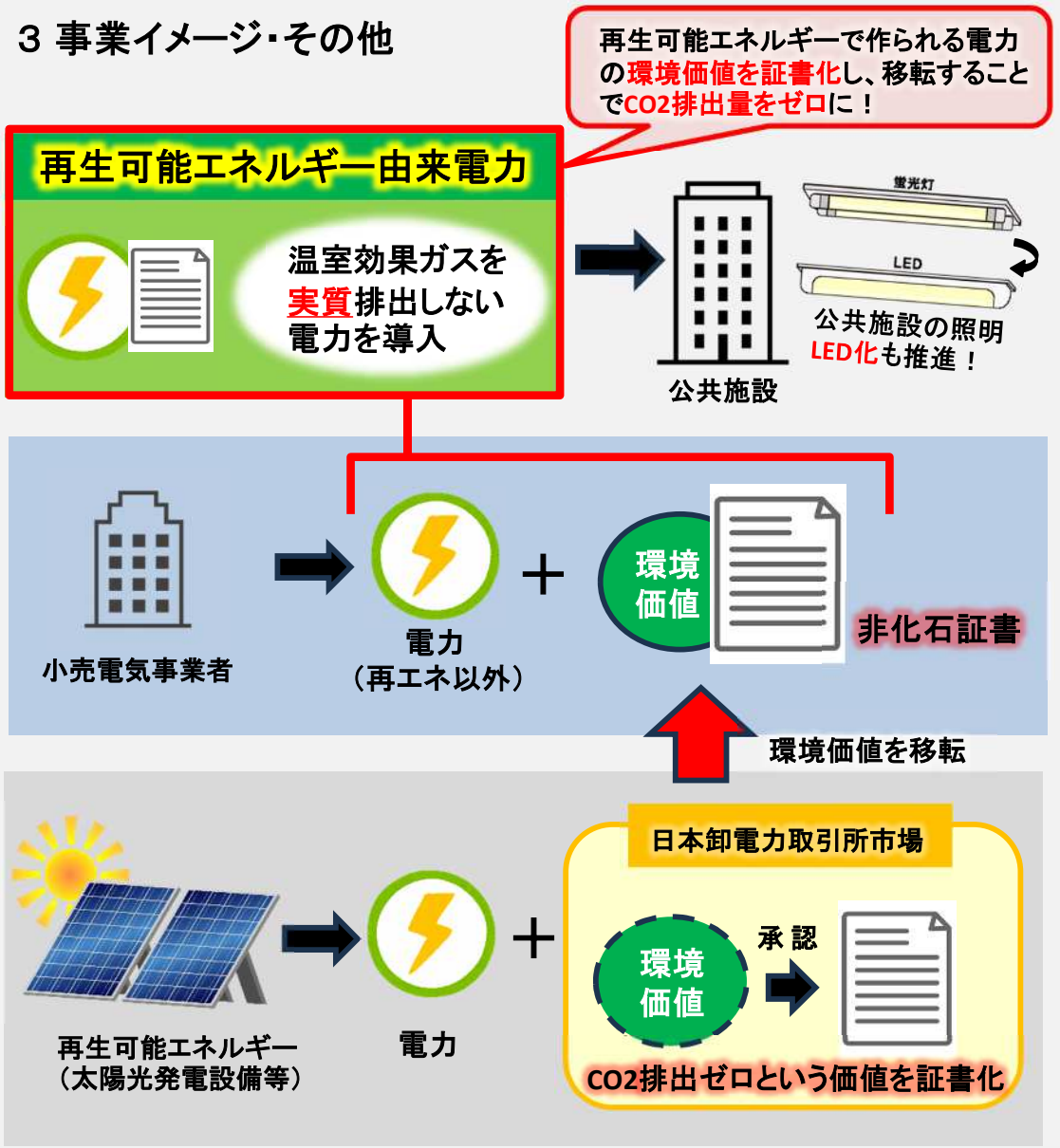
（令和6年度電気使用量から試算）

(2)公共施設のLED化　【4,700万円】 新規 拡充

令和7年度に実施した照明器具調査に基づき、リース契約等を活用して照明LED化を推進する。



3 事業イメージ・その他



9

助けられる人から支えあうまちへ

要配慮者対策の強化

予算額 拡充

3,599 万円

問合せ
防災課長
瀧澤　俊享　内線3551

1 目的

災害時に配慮が必要な方が安全かつ円滑に避難できるよう、一人ひとりの状況に応じた避難先・避難方法・支援者などを整理した個別避難計画の作成を推進するほか、システムの活用による情報管理体制の強化を図る。

また、避難所においても安心して生活できるよう、プライバシーの確保や健康に配慮した物資の整備を進め、地域全体で支えあう誰もが安心できる環境を構築する。

2 主な事業内容

（1）要配慮者対策事業の推進【1,503万円】 拡充

① 要配慮者の避難支援体制の強化
- ▸ 福祉専門職を活用した個別避難計画の作成
- ▸ 共助による個別避難支援プランの作成
- ▸ 要配慮者サポート隊の結成促進

② 避難行動要支援者情報管理システム
- ▸ 避難行動要支援者名簿と個別避難計画の一元管理
- ▸ 地図機能を活用した対象者の情報把握

（2）要配慮者用物資の購入【2,096万円】 拡充

乳幼児を連れた家族等への配慮として、避難所用間仕切りテント及びエアーマットの増配備を行う。
- ▸ 避難所用間仕切りテント　1,000張
- ▸ エアーマット　2,000枚

3 事業イメージ・その他

誰もが安心できる環境の実現



Solution 01

支援体制の強化

システムを活用した情報管理

Solution 02

物資の拡充

- 避難所用間仕切りテント
- エアーマット



10 『燃えない・壊れないまち』に！
震災に備え、不燃化・耐震化を促進！

予算額 新規 拡充
16億3,895万円
(1)～(3)不燃・耐震促進課 16億2,195万円
(4) 安全支援課 1,700万円

問合せ
不燃・耐震促進課長
石川 秀人 内線3971
安全支援課長
堀 啓一 内線3561

1 目的

全国各地で地震が多発し、首都直下地震等への備えが急務であるため、助成額の増額や新たな助成制度の創設など内容を拡充し、『燃えない・壊れないまち』の実現を図る。

2 主な事業内容

(1)不燃化促進事業【11億6,971万円】 拡充

基本助成額の引き上げ等の見直しを行うとともに、防災街区整備事業の着実な実施に向けた支援等を行う。

(2)木密地域不燃化プロジェクト推進事業(不燃化特区)
整備地域等不燃化集中促進事業
【2億3,870万円】 新規 拡充

基本助成額の引き上げや高齢者・子育て世帯への加算メニューの創設等、助成制度の拡充を行う。また、助成制度を新設し、不燃化特区外についても不燃化の促進を図る。

(3)耐震改修促進事業【2億1,354万円】 新規 拡充

各種助成制度について助成額や助成対象とする建築物等の拡充を行うとともに、ブロック塀等の無料耐震相談や撤去工事費助成を実施する。

(4)老朽危険家屋除却費等助成【1,700万円】 拡充

老朽危険家屋除却費の助成額の上限額(一部は補助率)を引き上げ、所有者の経済的負担軽減を図る。

3 事業の特徴

不燃建築物への建替えの基本助成額を
210万円から**460万円**に大幅アップ!! 拡充

新規 **新たな対象区域**で不燃化助成をスタート!!

不燃化・耐震化助成における除却助成を見直し、 拡充
①対象区域を**区内全域**に拡大
②上限額を**50～200万円**に拡大

耐震改修工事の助成額を**高齢者等居住**の場合、 拡充
190万円から**最大400万円**に大幅アップ!!

新規 ブロック塀等に対し**無料耐震相談**と
撤去費用の助成をスタート!!





老朽危険家屋の除却助成の上限額を 拡充
100万円および**200万円**に拡大
(通常敷地) (無接道敷地)



「こどもまんなか　すみだ」の推進

11

妊娠～出産・子育てまで　切れ目ない支援

子どもを安心して産み育てられる環境の充実

予算額　新規　拡充

1億5,301万円

（1）～（3）健康推進課　4,721万円
（4）子育て支援総合センター　1億580万円

問合せ
健康推進課
母子健康づくり担当副参事
平山　千富　3622-9139
子育て支援総合センター館長
野澤　典子　3622-1150

1 目的

妊娠期から出産・子育て期まで切れ目のない支援により、誰もが安心して出産・子育てができるまち「こどもまんなかすみだ」の実現に向けて各種関連事業を実施・拡充する。

2 主な事業内容

（1）育児パッケージの追加配布【2,673万円】 拡充

「ゆりかご・すみだ」面接終了時に配布している育児パッケージについて、区独自の支援として増額配布する。

（2）産婦健診・1か月児健診費用助成【1,600万円】 新規

これまで全額自己負担となっていた健診費用について、4月から前倒しで費用助成を行うことにより、積極的な受診と経済的な負担の軽減を図る。

（3）産後ケア事業の実施【448万円】 拡充

利用者アンケートにて一番要望が多い利用日数の増加について、日帰り型産後ケアの利用日数を2日から4日へ拡充。

（4）ファミリー・アテンダント事業の実施【1億580万円】 新規

見守り支援員が対象世帯を訪問し、育児に関する悩みや不安を聞き取り、子育て情報やサービス等の案内を行う。また訪問後は、育児支援品の購入に利用できる電子チケットを提供。

さらに定期訪問による見守りにより、支援が必要と思われる家庭、または希望する家庭に既存事業「いっしょに保育」で訪問し、育児の不安等を傾聴し、必要な支援につなげる。

3 事業イメージ・その他



New!!

（2）産婦健診・1か月児健診費用助成

10月以降実施予定の都内共通受診方式から前倒し！

- 産婦健診　5,000円×2回分
- 1か月児健診　6,000円×1回分

（1）育児パッケージ（こども商品券）の金額UP！

1万円 ⇨ **2万円**

※双胎の場合は4万円

区独自！







New!!



（3）日帰り型産後ケアの利用可能日数UP！

2日 ⇨ **4日**

（4）ファミリー・アテンダント事業

★定期訪問による見守り

- 原則月一回（上限7回）
- 訪問後電子チケット配布（訪問1回につき3,000円）

★傾聴による伴走支援

1世帯当たり年間3回まで（多胎児は4回まで）





12 保護者・保育士の負担を軽減！

おむつのサブスク利用料助成

予算額 新規

3,900万円

問合せ
子ども施設課長
細谷　勇治　内線3451

1 目的

保護者及び保育士の負担を軽減し、保育の質の向上を図るため、紙おむつとおしりふきの定額利用サービス（サブスク）の利用促進として、サブスク利用料の助成を行う。

2 主な事業内容

サブスク利用料助成事業 【3,900万円】 新規

都内初!!

【対象者】
サブスク導入施設
0歳児クラス～2歳児クラス
園児1人あたり月額1，000円を助成する。



【対象施設】区内施設のみ
認可保育所（区立・私立）
認定こども園
小規模保育事業所
家庭的保育事業所
認証保育所
定期利用保育事業施設



3 事業イメージ

おむつのサブスクとは？？

・・・月額定額制で、紙おむつ・おしりふきが使い放題になるサービス

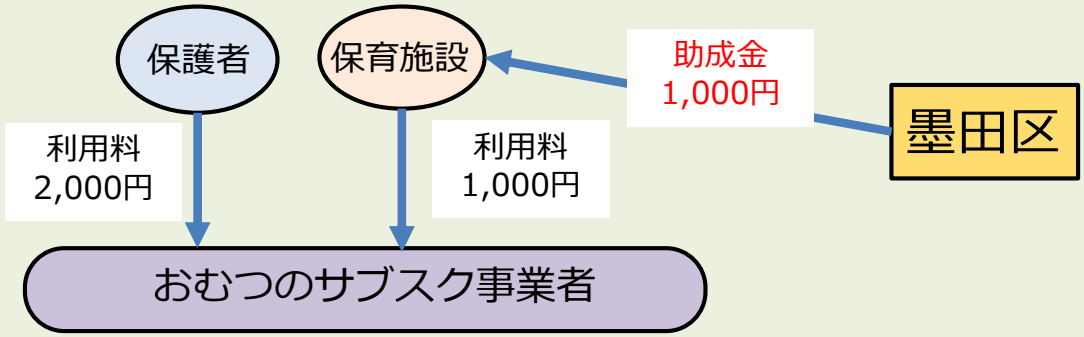
登園時の保護者の荷物負担軽減



保育士のおむつ業務負担軽減と保育の質向上



サブスク利用料助成とは？



※私立施設でサブスク利用料が3,000円/月の場合

13 ニーズに応じた多職種連携でサポート！

墨田版5歳児健康相談の拡充

予算額 拡充
1,516 万円

問合せ
保健衛生部副参事
（母子健康づくり担当）
平山　千富　電話3622-9163

1 目的

言語の理解能力や社会性が高まる5歳児の成長や発達、家庭での困りごと等について丁寧に伺いながら、保護者とともに多職種かつ専門的な視点で必要な支援を早期に考えることで、子どもの健やかな成長を目指す。

2 主な事業内容

5歳児健康相談 【1,516万円】 拡充



■相談事業の流れ

【ステージ1】
対象者（4歳6か月の子ども）全員の家庭にアンケートを送付し、保護者が子どもの日頃の様子について確認して保健所に回答

【ステージ2】
保健所では、「相談会」を希望者に対して実施し、集団による行動観察、多職種による評価を行い、結果を即日保護者にフィードバック

拡充する点
相談会のニーズが高いことから実施回数を**20回**に増加！
（令和7年度は11回実施）

【ステージ3】
小児専門医師や心理士による保護者に寄り添った個別相談や、子育て、教育部門とも連携し、専門医療機関、療育機関への紹介など地域リソースによる支援を開始

拡充する点
構音や吃音に対する相談体制の充実のため、個別相談事業に**言語聴覚士**を配置

3 事業イメージ・その他

■連携拠点となる施設

保健、子育て、教育部門が集結！
多様な人材が「つながる」施設

すみだ保健子育て総合センター





■連携のイメージ

保健所からの**情報共有**により、早期に適切な専門機関につなぐことで、子どもの成長を**サポート**する。



14 みんなでつくる、進める
「こどもまんなかすみだ」の推進

予算額 拡充 継続
8,807万円
（1）子育て政策課　6,957万円
（2）（3）子育て支援課　1,850万円

問合せ
子育て政策課長
遠田　和寛　内線3401
子育て支援課長
大島　悠樹　内線3441

1 目的

こどもや子育て家庭等の意見・視点を意識し、笑顔のあふれる、こどもの最善の利益を優先するまち「こどもまんなかすみだ」の実現に向けた取組を推進する。

2 主な事業内容



（1）公立学童クラブの受け皿の拡充【6,957万円】 拡充

保護者のニーズに対応するため、延長・土曜育成実施クラブを9か所拡充する。また、学童クラブごとの定員を見直すことで、定員を合計59名分増やすとともに、選考基準・方法の見直しにより定員を最大限活用し、待機児童の削減を図る。

さらに、今後も待機児童の発生が予測される地域で小学校内学童クラブを1か所新設する（令和9年4月開設予定）。

（2）子どもの体験活動支援事業の実施【1,000万円】 拡充

小学生を対象に、区内での体験活動（文化活動、音楽芸術活動、スポーツ、自然体験等）の機会を確保することで、子どもの健やかな成長を支える。

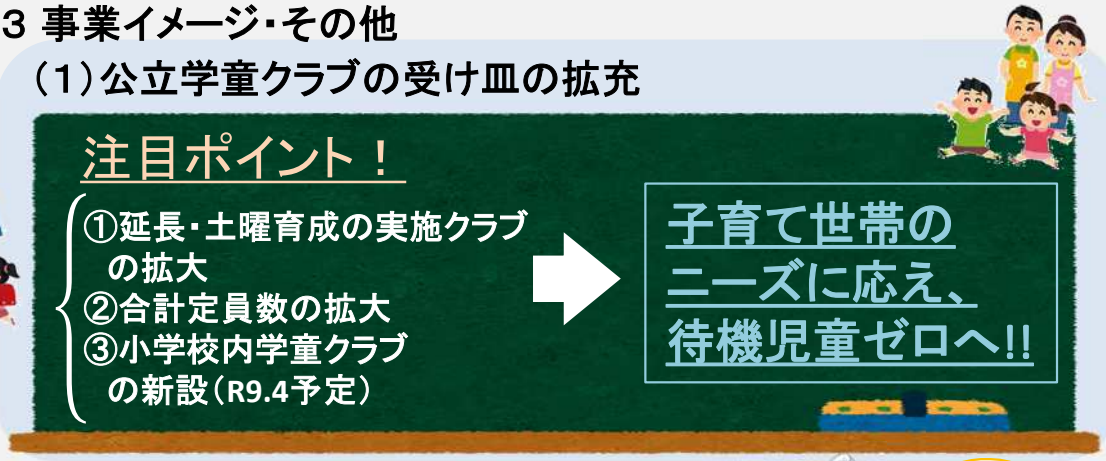
令和8年度は、総合的芸術祭との連携など、他の団体とのつながりを意識し、より多様な体験を子どもたちへ届ける。

（3）こどもわくわくフェスティバルの実施【850万円】 継続

地域でつくるこどもが主役のイベント「こどもわくわくフェスティバル」を開催する。遊び・学び・食の多様な体験機会やこどもの意見表明の場を創出。こどもから大人まで共に参加し、墨田区こども条例の理念を推進する。

3 事業イメージ・その他

（1）公立学童クラブの受け皿の拡充



（2）子どもの体験活動支援事業の実施



（3）こどもわくわくフェスティバルの実施



15 ～英語教育の充実と授業づくり支援サービスの導入～

こどもも教員もレベルアップ！

予算額 新規 拡充
3,755 万円
（1）指導室 3,437万円
（2）教育センター 318万円

問合せ
指導室長
石坂 泰 内線5140
教育センター所長
石坂 泰 直通3622-1126

1 目的

児童・生徒が外国語指導員が話すネイティブ英語に触れ、話す機会を確保し、コミュニケーション力や英語力を伸ばすことができるよう、英語教育の充実を図る。

また、若手教員の指導において、授業を可視化できるクラウド型授業づくり支援サービスを導入・活用し、教員の指導力向上を図り、さらなる授業改善に繋げていく。



2 主な事業内容

（1）-①外国語指導員派遣時数の増加【2,887万円】 拡充

小・中学校の英語授業への外国語指導員派遣時数を増やし、英語でコミュニケーションを取る機会をさらに確保する。

（1）-②小学校での英語体験型学習【550万円】 新規

区立小学校に複数の外国語指導員を派遣し、学んだ英語を活かせる環境を用意する。児童一人ひとりが英語を話す機会をつくり、英語が使え、考えが伝わる体験型学習を実施する。

（2）クラウド型授業づくり支援サービスの導入【318万円】 新規

教員の問いかけや、授業全体を通して話している量を可視化することで、指導・助言を効果的に行い、若手教員の授業力を高める。（※全ての教科で実施）

3 事業イメージ・その他

（1）—①外国語指導員年間派遣時数の追加

小学校１・２年生	小学校３・４年生	小学校５・６年生
６時間 ➪ ９時間	20時間 ➪ 25時間	37時間 ➪ 50時間

（1）—②小学校での英語体験型学習

学んだ英語を使いながら、外国語指導員が出すミッションをクリアする

（ミッション例）
- 病院ブース
- 図書館ブース
- 旅行ブース

これまでの学びを活かしながら、ネイティブの英語に触れ、使い、英語を学ぶ意欲がUP！

中学生
29時間 ➪ 35時間

これまでの学びを活かして

TOKYO GLOBAL GATEWAY
海外派遣事業
イングリッシュキャンプ
地域部活動英語部

（2）クラウド型授業づくり支援サービスの導入

全校での実施は23区初



授業風景をタブレットで録画・録音



文字起こし
分析データの作成
フィードバック
個人での振り返り



授業改善
学力向上

16 子どもの「ただいま」を守ります！

パパママ安心 The セーフティー通学路

予算額 新規 継続

2億3,069万円

(1)～(3) 道路・橋りょう課 2億2,620万円
(4) 土木管理課 449万円

問合せ
道路・橋りょう課長
西澤　博志　内線5051
土木管理課長
清元　一郎　内線5001

1 目的

子どもの安心・安全を守る環境づくりのため、通学路における歩道新設等を優先的に進めるとともに、自転車ネットワーク路線における歩行者と自転車の通行空間分離など、安全性の向上を図る。

また、令和8年4月からいわゆる「青切符制度」が自転車の交通違反に導入されることから、これを交通ルール等が再認識される機会と捉え、普及啓発活動を推進する。

2 主な事業内容

(1)歩道の新設【4,880万円】 新規

ア　墨16号路線歩道新設工事（東駒形四丁目/横川小南側）
イ　墨13号路線歩道新設実施設計
（本所二丁目～石原三丁目/外手小南側）



(2)通学路の安全対策【3,260万円】 新規

ア　ガードパイプ新設工事（千歳二丁目）
イ　路面標示補修工事（墨田二丁目外）

(3)歩行者・自転車通行空間等の整備【1億4,480万円】 継続

ア　墨119号路線（曳舟川通り）自転車走行空間整備
（向島三丁目～押上二丁目）
イ　墨109号路線（区役所通り）歩行者・自転車通行空間整備（亀沢二丁目～亀沢三丁目）

(4)交通安全普及啓発【449万円】 継続

交通安全教室の開催や交通安全物資の配布等により普及啓発し、併せて、自転車用ヘルメットの着用を促進する。

3 整備イメージ・その他

◆通学路における安全対策

(1)歩道新設

整備前



改修後

整備後



(2)ガードパイプ設置



(3)自転車走行空間



(4)交通安全教室の様子



普及啓発活動の一例





福祉・保健

17

「ひとりじゃない」を、当たり前に

医療的ケア児等の地域生活支援

予算額 新規

1億1,916万円

問合せ
障害者福祉課長
渡邊　浩章 内線3361

1 目的

医療的ケア児等コーディネーター事業の委託と重度身体障害者グループホームの整備により、障害のある方々が地域で安心して暮らし続けられる環境を構築する。

2 主な事業内容

(1)医療的ケア児等支援事業　【616万円】 新規

医療的ケア児等コーディネーター業務を委託し、相談及び多分野にわたる支援の調整を図る。

▸対象者

医療的ケアが必要な障害児・者及びその家族等

(2)重度身体障害者グループホーム等整備支援事業　【1億1,300万円】 新規

重度の身体障害のある方が暮らすグループホームの整備にあたり、事業者に整備補助を実施する。

▸所在地

八広一丁目１番　（旧ひきふね保育園跡地）

▸事業者名

医療法人財団はるたか会

▸運営開始

令和８年９月（予定）

▸完成イメージ



3 事業イメージ・その他



18 採用力を高め、介護人材を呼び込む

介護人材確保対策支援事業

予算額 新規 拡充 継続

3,132万円

問合せ
介護保険課長
島田 哲夫　内線3491

1 目的

介護人材不足を抱える介護事業所に対し、人材の確保・定着及び介護の生産性向上につながる支援事業を展開する。

2 主な事業内容

(1)地域密着型サービス事業所宿舎借上支援事業
【1,870万円】 新規

従業員の宿舎借上げを行い、かつ従業員に宿舎を提供している区内の地域密着型サービス事業所を運営する法人に対し、その費用の一部を補助する。

(2)介護事業者における人材採用力強化セミナー
【75万円】 新規

介護事業者が人材の採用や離職防止に関するノウハウを身につけることにより、新規人材確保及び職場への人材定着の精度を高める。

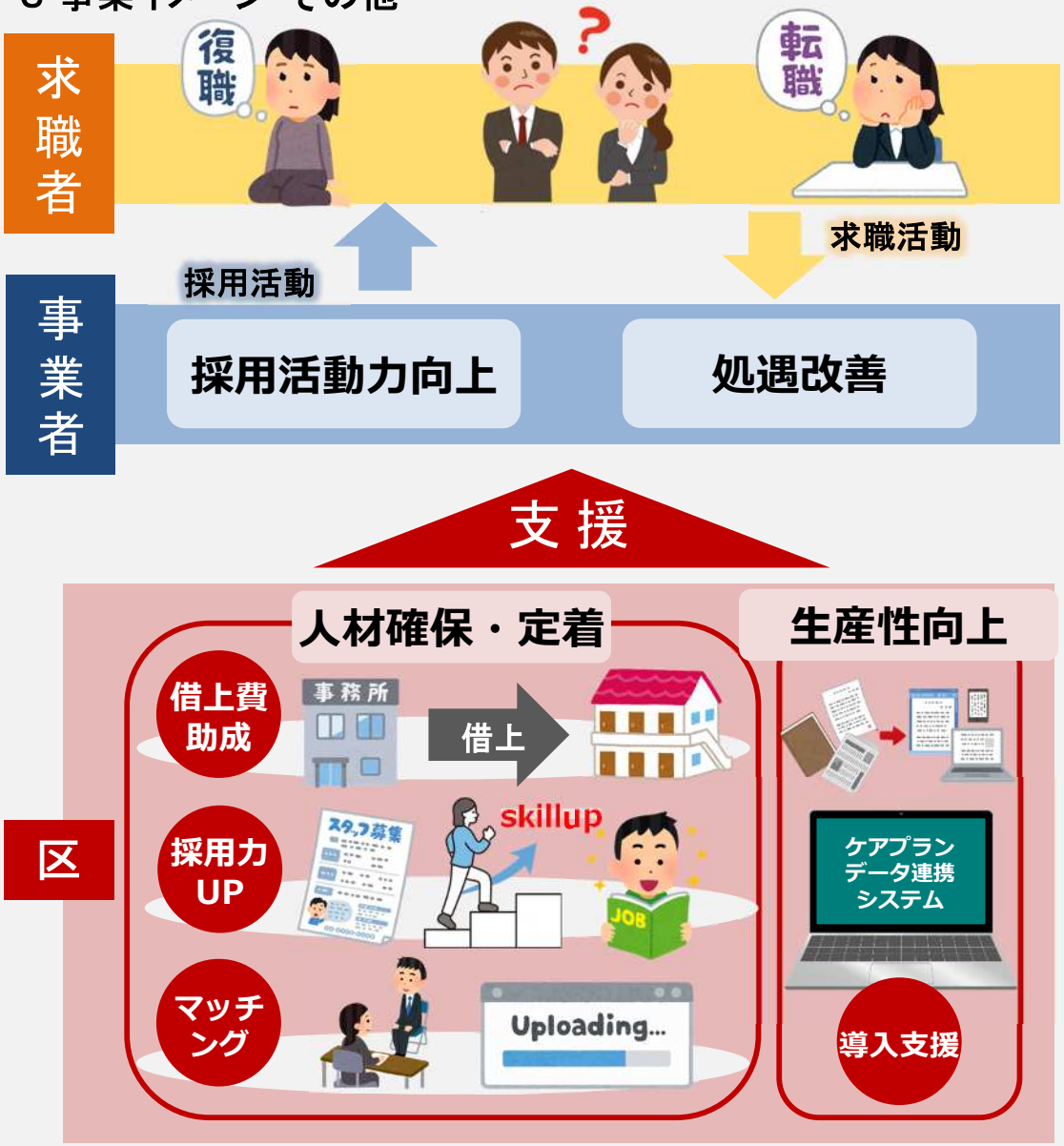
(3)介護のおしごと相談・面接会 **【187万円】** 拡充

区内介護事業者から好評の本事業について、民間の知見を活用し、事業規模や質を向上させることにより、事業所の採用機会の提供及び採用者数の増加を図る。

(4)ケアプランデータ連携システム導入支援事業
【1,000万円】 継続

介護の生産性向上を目的として厚生労働省が構築したシステムを区内介護事業者が導入するにあたり、側面的支援を行い、システムの導入促進を図る。

3 事業イメージ・その他



文化・産業・観光



19

すみだのものづくりに出会う

「ものづくりのまち すみだ」のプロモーション強化

予算額 新規 拡充

900万円

問合せ
産業振興課長
石岡 克己　内線5431

1 目的

「ものづくりのまち すみだ」を広く周知するため、秋に開催する「すみだ五彩の芸術祭」に合わせ、「3M運動」「すみだモダン」等を活かしたPRイベントなどを行い、国内外の方へのプロモーションを強化する。

2 主な事業内容

(1)「ものづくりのまち すみだ」PRイベント【600万円】新規

すみだのものづくりを「見る・体験する・楽しむ」イベントを開催する。

(2)「イチから始める」運動【300万円】拡充

「イチから始める」運動の新たな展開として、同じ分野の事業者が連携し、魅力的なすみだ産品の展示・販売等を開催予定。ものづくり事業者が集積する“すみだ”ならではの企画を検討していく。

● 「3M運動」

高度なものづくりの技術を披露する「マイスター」(35人)、普段から気軽にすみだのものづくりを体感することができる「小さな博物館」(25館)や「工房ショップ」(19店)が、日常的に「ものづくりのまち すみだ」をPRしている。

● 「すみだモダン」

「こころ、ゆさぶる。」をキャッチフレーズに、区内事業者の活動や商品を「すみだモダン」の名称でブランド認証している。台湾と連携して、「ものづくりのまち すみだ」のPR等も実施している。

3 事業イメージ・その他



20 新たな産業の創出

ハードウェアスタートアップ拠点構想の推進

予算額 拡充 継続

3億8,253万円

問合せ
産業振興課長
石岡 克己　内線5431

1 目的

区内産業の持続的な発展のため、共創を通じて、新たな産業を創出することで、既存の産業集積をアップデートし、「新たな価値を創出し続ける活力にあふれるまち」を目指していく。

2 主な事業内容

(1)産業共創施設 SUMIDA INNOVATION CORE(SIC)の運営 【3億1,992万円】継続

スタートアップと区内事業者等との共創を通じて、ものづくり企業の付加価値向上、区内産業の基盤強化及び区民生活への還元等に資する効果を生み出す。

会員数	581社(者)
共創事例の件数	75件



SICを本構想の中核施設に位置づけ、各エリア間の連携を図り、区内全体で統合的に取り組む。

(2)テクネットすみだ及び東墨田ラボにおけるスタートアップ支援 【6,261万円】拡充

SICと連携して共創事例のさらなる創出に取り組むほか、スタートアップ等に対し、産業ロボットを活かした製品開発支援や試作品の製作支援などを行う。

3 事業イメージ・その他

産業集積のアップデート



21

友好協定締結30周年！

長野県小布施町との交流

予算額 新規 拡充

235万円

(1)～(2) 文化芸術振興課 175万円
(3) スポーツ振興課 60万円

問合せ
文化芸術振興課長
藤原聖一郎　内線5451
スポーツ振興課長
小林　弘明　内線5490

1 目的

長野県小布施町との友好協定締結30周年を記念し、多様な住民交流の機会を創出することで、北斎の縁で築かれた交流を次代へ受け継ぐとともに、更なる友好関係の構築と相互理解の促進により、地域の活性化を図る。

2 主な事業内容

(1)相互都市農村交流 【160万円】 拡充

墨田区民が小布施町を訪問し、農作業等体験をはじめ、小布施の自然や文化に触れる従来の「都市農村交流」に加えて、小布施町民が墨田区を訪れ、伝統工芸体験など墨田区の文化・歴史に触れる相互の都市農村交流を実施する。

(2)記念講演の実施 【15万円】 新規

令和8年度は、すみだ北斎美術館開館10周年及び小布施町にある北斎館も開館50周年の年に当たるため、このことを活かしつつ、今後の更なる交流発展に繋がるよう、小布施町での記念講演を実施する。

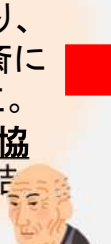
(3)スポーツ交流事業の実施 【60万円】 新規

小布施町と墨田区の少年野球交流や、区内で開催されているボッチャ大会への小布施町民チームの招待、小布施町が聖地と言われているニュースポーツ「スラックライン」の体験会を区内で実施する。

3 事業イメージ・その他

友好協力協定締結の経緯

小布施町は**葛飾北斎**が晩年を過ごした地であり、平成5年3月、葛飾北斎に関連する協議会が設立。
平成8年5月に**「友好協力に関する協定」**を締結





令和8年度
小布施町と
初の周年記念事業！



双方の
まちの活力を
生み出す！

小布施町との都市農村交流事業の様子 ※令和7年度

墨田区にはない
自然や文化を
体験！





少年野球交流・スラックライン体験のイメージ





スポーツを
通して
交流を深める



まちづくり



22 区内各所で芽吹き、花が咲くまちづくり

駅周辺の魅力を向上

予算額 継続

3億7,129万円

(1)　拠点整備課　3億2,830万円
(2)(3)まちづくり調整課　4,299万円

問合せ

拠点整備課長　椎名康明　内線3981
まちづくり調整課長　秋山和栄　内線3980
両国まちづくり担当副参事　小林繁　内線3997

1　目的

まちの機運や開発動向に合わせ、それぞれの地域特性を活かすことで、広域総合拠点・広域拠点にふさわしい複合市街地の形成の推進を図り、本区の「暮らし続けたいまち」「働き続けたいまち」「訪れたいまち」を実現する。

2　主な事業内容

(1)曳舟駅周辺整備【3億2,830万円】 継続

再開発事業の認可に向け、権利者の建物等の調査や施設建築物・道路の基本設計及び公園整備方針案を検討し、地権者の合意形成を進め、安全で快適な都市空間の整備や交通利便性の高いまちづくりを推進する。

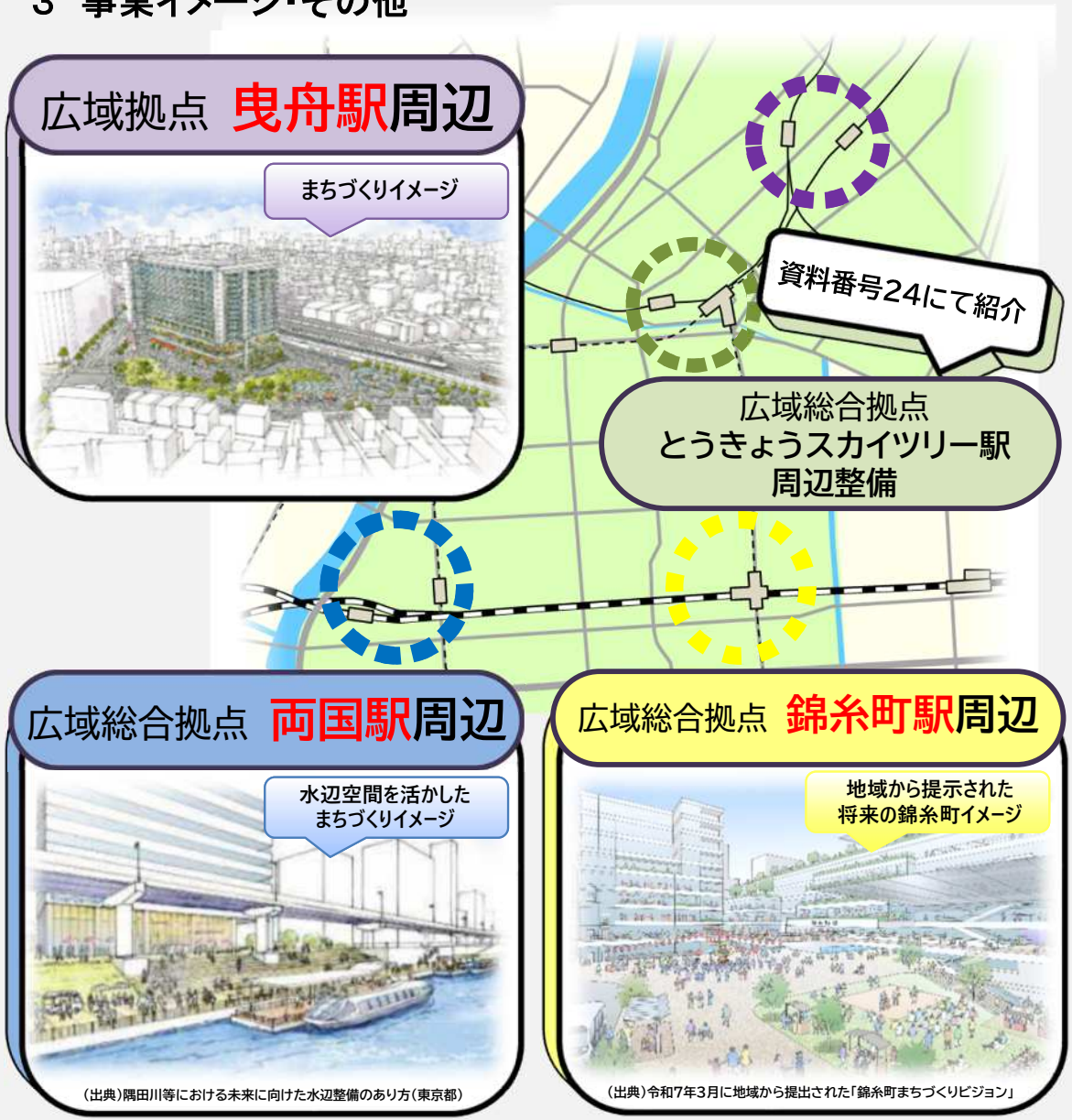
(2)錦糸町駅周辺整備【3,279万円】 継続

地下鉄8号線(有楽町線)延伸に合わせたまちづくりを推進するため、令和7年11月に設置した「錦糸町まちづくりグランドデザイン策定委員会」等で、地域の皆さんの意見を踏まえたまちの将来像や交通基盤等を検討する。

(3)両国駅周辺整備【1,020万円】 継続

両国駅周辺の魅力向上に向けて、良質な開発誘導による公的空間の整備や水辺空間を活かしたまちづくりを推進するため、JR両国駅北側のまちづくり方針の策定を視野に、関係者とともにまちの将来像を検討する。

3　事業イメージ・その他



23 「にぎわい」と「うるおい」のあるまちの実現

隅田川沿川地区まちづくり

予算額 継続

6億9,589 万円

問合せ
都市計画部参事
武井 勝人　内線3901

1 目的

「隅田川沿川厩橋周辺地区地区計画」に基づき、地域のまちづくりに資する開発計画を誘導するとともに、区民・事業者・行政が一体となり、スーパー堤防整備をはじめとする開発予定地の周辺整備を行う。

2 主な事業内容

(1)隅田川沿川地区まちづくり　【899万円】継続

これまでの空地活用の検討を踏まえて、開発予定地に整備されるデッキと広場の利活用に向けたルールの素案を作成する。

また、開発予定地の周辺整備については、地域の意見を踏まえた整備を行うとともに、まちづくりの機運醸成を図る。

(2)スーパー堤防整備に伴う道路整備工事費　【6億8,690万円】継続

東京都が実施するスーパー堤防整備事業と併せて、隅田川と開発予定地をつなぐ区道整備に着手する。

3 事業イメージ・その他

開発予定地の周辺整備



24 南北市街地一体化で、より暮らしやすいまちに！

押上・とうきょうスカイツリー駅周辺まちづくりの推進

予算額 拡充 継続

66億9,781万円

（1）立体化推進課　66億7,552万円
（2）　拠点整備課　　2,229万円

問合せ
立体化推進課長
松岡 宏輔　内線3991
拠点整備課長
椎名 康明　内線3981

1 目的

安全で円滑な交通機能を確保するために、令和7年3月に伊勢崎線第2号踏切の除却が完了し、引き続き、都市計画道路の整備に向けて、留置線の高架化工事を進めるとともに、南北に分断されているまちの一体化を図る。

また、都市計画道路や鉄道北側のまちづくりを推進することで、広域総合拠点にふさわしい魅力あるまちの形成を図る。

2 主な事業内容

（1）東武伊勢崎線（とうきょうスカイツリー駅付近）立体化事業

【64億3,304万円】 継続

留置線高架橋工事、駅舎工事等を令和10年度の事業完了に向けて着実に進める。令和8年度は、留置線の高架橋工事や駅部の工事を実施する。

（2）とうきょうスカイツリー駅周辺整備事業

【2億6,477万円】 拡充 継続

都市計画道路の整備に係る事業認可取得、関係機関との調整や用地取得準備（土地鑑定、補償算定）を進める。

駅周辺まちづくりについては、地域の皆さんの意見を踏まえたまちづくり方針の策定を視野に、まちづくりに関する機運醸成を図る。

また、 将来増加する観光需要等を見据え、押上駅を含めた交通基盤のあり方を検討する。

3 事業イメージ・その他

駅周辺まちづくり

- 「訪れたいまち」「住みたいまち」が両立する下町文化創成拠点の形成
- 地域のまちづくりに関する機運醸成のための駅まえ活用準備会議の実施
- 将来増加する観光需要を見据えた交通基盤のあり方を検討



都市計画道路の整備

- 地区の利便性や回遊性を向上
- 安全で快適な歩行空間を確保



押上駅北口駅前広場整備イメージ

鉄道の立体化

- 安全で円滑な交通機能を確保
- 南北市街地を一体化



とうきょうスカイツリー駅（北側）整備イメージ



これまでに、上下線高架化や踏切の除却、駅の移設を実施済み！

25 まちを彩り、そして輝きだす

水×みどり×人、そこは公園

予算額 拡充

4億8,384 万円

問合せ
公園課長
小林 将之　内線5061

1 目的

子どもから高齢者まで、多世代の多様なニーズに応え、快適で居心地がよい空間をめざし、公園が、人と人、人と地域をつなげ、すみだのまち全体を輝かせることにつながっていくよう、訪れたくなる公園づくりを進める 。

2 主な事業内容

公園・親水公園の再整備【4億8,384万円】 拡充

（1）東あずま公園再整備

築山を活かした遊具、ボール遊び広場、イベント・交流広場等を整備し、多様なニーズに応えた特色ある公園づくりを進める。

（2）横川公園再整備

震災復興公園という特色を活かし、防災パーゴラやかまどベンチといった防災設備のほか、多様な遊具を整備し、日常的に子ども達が集える場とする。

また、公園南側の道路について、歩道を新設し、安全に利用できる環境とする。

（3）大横川親水公園再整備

魚つり場・イベント広場改修やパークセンター整備を通して、多様な楽しみ方・過ごし方ができる空間を創出する。

改修では、釣り堀の規模を現在の約1／3程度とし、新たに生まれたスペースを有効活用することで、魚つりだけでなく様々な利用のできる空間とする。

3 事業イメージ・その他

東あずま公園





横川公園





大横川親水公園 現・魚つり場、パークセンター






窓口体験調査
実施中
Resident Registration Notification, Personal Seal Registration
2
3
4
5

行政サービスの改革

26 デジタルファーストの実現に向けて

行政手続の業務改革に伴うオンライン化率向上推進事業

予算額 新規 継続

2,853 万円

問合せ
ICT推進担当課長
松本　輝之 内線3651

1 目的

関連する業務プロセスを抜本的に見直し、申請から処分通知まですべてオンラインで完結する仕組みを構築することで、オンライン申請率を向上させ、区民・職員負担の軽減を目指す。また、業務プロセスの見直しには、そのノウハウを持った人員を育成していく必要があるため、デジタル技術を活用した業務改善に取組むことができるデジタル人材の育成についても併せて実施する。

2 主な事業内容

(1)オンライン手続の利用率向上事業【2,193万円】 継続

オンライン化された区役所の手続をより利用しやすくする。現状、オンライン申請が可能でも利用率が低く、多くの方が窓口に来庁されている。申請フォームの使い勝手を改善し、手続を分かりやすくすることで、申請者の方の負担軽減を図る。

(2)処分通知のオンライン化推進事業【660万円】 新規

オンラインで申請した手続の結果通知も、オンラインで受け取れるシステムを導入する。現在は申請をオンラインで行っても、許可証や通知書は郵送となっており、受け取りまでに時間がかかっている。申請から処分通知までを全てオンラインで完結する仕組みを構築することで、申請者の方により早く確実に結果をお届けすることが可能となる。

3 事業イメージ・その他



27 区民に寄り添った窓口に向けて

「待たなくていい」窓口の実現

予算額 新規

5,962万円

問合せ

窓口課長
伊藤　真作　内線 3101

1 目的

窓口DXSaaS(※)を導入し、転入などの手続きや証明書発行時などに「**書かなくていい**」窓口を実現する。その結果、記載の負担を軽減し、待ち時間を(転入などの手続きについて、年間2,500時間)短縮して「**待たなくていい**」窓口を実現する。

※ 窓口DXSaaSとは？
自治体の窓口業務のDXを推進するための
クラウドサービスのことでデジタル庁が推進する取組の1つ

2 主な事業内容

窓口DXSaaSの導入【5,962万円】 新規

導入窓口…区民部（窓口課・税務課・国保年金課）

■申請者の負担軽減

STEP1 マイナンバーカードの利活用…マイナンバーカードの本人確認書類を読み込み、申請者を特定。
他サービスとの連携…既存住民基本台帳システムとの連携により、住基情報等を活用する。

STEP2 手続ガイダンス…ヒアリングの回答をもとに必要な手続についてガイダンスを実施。
質問に答えるだけで必要な手続が正確にわかる。

STEP3 申請書作成…氏名・住所は身分証明書、既存住民基本台帳システムのデータから自動転記し、書かなくていい窓口を実現し、必要な複数の申請書を作成する。

STEP4 案内…手続き一覧表により、「迷わなくていい」窓口を実現する。

■業務の効率化

上記ステップでRPAを導入し、既存住民基本台帳システムへの入力作業を自動化、バックヤード業務の効率化を図り、「**待たなくていい**」窓口を実現する。

3 事業イメージ・その他

